

新成人の皆さんへ

祝福を届けよう

成人式の中止が決まり、直接お渡しできない成人証書や記念品は、新成人の皆さんの自宅へ配送することになりました。それに合わせて、ふるさとからの祝福の気持ちを、できる限り伝えよう―村は、花き農家さん達の協力を得ながら、村でつくられた花で花束をつくり、56人の新成人に贈ることにしました。

スクールバスで通っていた子ども達へ

新成人の皆さんに、私の花を見てもらえることは、本当にうれしいこと。震災後、私は避難先で1年間だけスクールバスで助手を務めていたのですが、その時小学5年生だった子ども達だと思うんです。避難も落ち着かない中での通学でした。乗せていた何人かの顔が浮かびます。大人になったんですね。

世の中が全体的にクールになったというか、みんな自分のことで精一杯になってしまっていますが、皆さんには、小さい頃と変わらない正義感と、やさしさを兼ね備えた大人になってもらえたらと願っています。

高橋日出夫さんの
アルストロメリア
おめでとう



高橋日出夫 さん
(関根・松塚)

自分にしかできないことにチャレンジを

まさかうちの花を新成人の皆さんに贈ることができるなんて。できるだけたくさん、きれいな状態で…そう思ってハウスで管理していました。予定以上の数を出すことができて、うれしく思います。新成人の皆さんは、震災を経験し、今は新型コロナの影響を受けていて、もしかしたら「自分の時だけどうして」と思ってしまう場面があるかも知れません。この花で、少しでも心をいやしてもらえたら。ピンチはチャンスととらえ、「こんなことを経験した自分にしかできないことがある」と前向きに日々を過ごしてほしいです。

花井由貴さんの
ストック
おめでとう



花井由貴 さん
(大久保・外内)

ふるさとを胸に 素晴らしい人生を

村で作られたアルストロメリアとストックに、カスミソウ、カーネーション、バラなどを添えてアレンジしました。成人式という大事なイベントがなくなってしまったことは残念ですが、後々にはそれも忘れてしまうくらい、素晴らしい人生にしてほしいと願っています。中学校を卒業してすぐ村を出てしまったので、若い頃の私には、村に対する思い入れがそれ程なかったと思うのですが、大人になって、ふるさとのありがたみが分かるようになりました。自然豊かな所に育った素直な自分を大事に成長を重ねていってほしいです。

保原屋生花店で
アレンジメント
おめでとう



原田 徹 さん
(深谷)

花束に想いを込めて



ライフラインに役立ちたい

新成人 菅野翔太さん(比叡)



おめでとう

花を贈っていただき、ありがとうございます。小学生の時に震災が起きて、運動会などができない時期がありました。20歳になり、今回また成人式ができなくて、仕方ないことですが、残念です。他の地域の人は実家の近くに友達がいるけれど、自分達はどうではない。新たな機会に再会できることを願っています。今は大学で土木の勉強をしていて、将来はライフラインに関わる仕事がしたい。それが飯館であればなおいいなと思います。飯館には祖父母が暮らしているので、なるべく顔を出して孝行したいです。

人と関わる仕事がしたい

新成人 菅野美紀さん(比叡)



おめでとう

20歳になって迎える、人生で一度だけの式がなくなってしまうしました。なかなか会えない友達と会えなくなってしまうことが、すごく残念です。中止と聞いた時は、とてもショックでした。小さい頃から一緒だった友達と、晴れ着で再会することを楽しみにしていましたから。震災が起きて、私達は、本校で学ぶことができなくなりましたが、一方で、仮設校舎だからできたこともあったと思っています。将来は、人と関わる仕事がしたいです。こうして花束をいただけ、すごくうれしいです。ありがとうございます。

20歳の20冊

新しい歩を踏み出す
新成人に贈ります



20冊の紹介と推薦文
を載せた小冊子

村は毎年、新成人の皆さんに、読んでいただきたい本「20歳の20冊」を選んでいきます。

中には教育長がおすすめする1冊もあります。1995年の「ほんの森いいたて」開設以来お付き合いをいただいているJ P I C (出版文化産業振興財団)を通して、直木賞作家や村にゆかりのある方々にも本を選んでいただいています。

20冊の中から、推薦文を参考に、新成人がそれぞれ選んだ1冊を、成人式に合わせてプレゼントしています。今回は、成人証書や花束と一緒に一人ひとりが選んだ本を、送らせていただきました。